



2019年8月30日

各 位

会 社 名 株式会社 梅 の 花
代 表 者 名 代表取締役社長兼COO 本 多 裕 二
(コード番号 7604 東証第二部)
問 合 せ 先 取締役執行役 管理本部長
上 村 正 幸
(TEL 0942-38-3440)

(訂正) 「平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の
一部訂正について

当社は、平成29年5月12日に開示いたしました「平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容の理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(2019年8月30日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正の箇所には、____を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年5月12日

上場会社名 株式会社 梅の花 上場取引所 東
 コード番号 7604 URL http://www.umehohana.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 梅野 重俊
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役管理本部長兼 経理部長 (氏名) 上村 正幸 TEL 0942-38-3440
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	16,068	3.1	495	42.9	490	40.8	272	136.1
28年9月期第2四半期	15,582	1.6	347	△22.1	348	△13.0	115	△52.8

(注) 包括利益 29年9月期第2四半期 281百万円 (189.3%) 28年9月期第2四半期 97百万円 (△61.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	39.79	—
28年9月期第2四半期	15.67	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期第2四半期	27,005	5,399	20.0	787.38
28年9月期	26,230	5,151	19.6	751.19

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 5,399百万円 28年9月期 5,151百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年9月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年9月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年9月期の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,309	9.9	391	142.1	188	209.5	17	△81.8	2.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期2Q	7,489,200株	28年9月期	7,489,200株
② 期末自己株式数	29年9月期2Q	631,677株	28年9月期	631,677株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期2Q	6,857,523株	28年9月期2Q	7,377,578株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり緩やかな回復基調にあるものの、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があると言われる中で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは10月に株式会社丸平商店・ヤマグチ水産株式会社・株式会社グッドマーケットレーディング(以下「丸平商店グループ」)の3社の完全子会社化、11月に株式会社フジオフードシステムとの資本業務提携、4月にサトレストランシステムズ株式会社のグループ会社である株式会社すし半を完全子会社化し、そのためのインフラ整備に着手する等、企業規模の拡大及び企業基盤の強化に取り組みました。また、外販事業の体制強化に加え、統合(相乗)効果の創出に向けた取り組みも開始いたしました。加えて、自然災害等に対するリスクの分散及び中長期的な出店並びに物流の効率化を見据えた新工場(京都府綴喜郡)の建設計画につきましても進めております。

出店につきましては、外食事業は出店先の立地条件、賃貸借条件及び店舗の採算性等を勘案した上で都心部(中心市街地)への小型店舗や市街地近郊の戸建店舗の展開を、テイクアウト事業は百貨店、駅ビル及びショッピングセンター内への出店等を計画しております。12月に新たな試みで外食事業である「湯葉と豆腐の店 梅の花」の小型店舗として「成城学園前店」(東京都世田谷区)を出店いたしました。

店舗の出店及び退店につきましては、外食事業2店舗出店及び1店舗退店、テイクアウト事業1店舗出店及び3店舗退店により、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は269店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、丸平商店グループを完全子会社化したことにより160億68百万円(前年同期比103.1%)と増収となりました。営業利益は、主に広告宣伝費等の見直しによるコストダウンにより4億95百万円(前年同期比142.9%)、経常利益は4億90百万円(前年同期比140.8%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億72百万円(前年同期比236.1%)と増益となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

(外食事業)

外食事業におきましては、新ポイントカードを導入し、お客様がポイントをご利用しやすい内容に変更するとともに、顧客分析により、それぞれに合わせた特典の提供を行う等、来店頻度の向上に取り組みました。また、専門スタッフが接客サービスや調理技術の向上の為、店舗訪問し指導強化に取り組んでおります。さらに、3月より毎月12日を「豆富の日」とし、様々なイベントを開催する新企画をスタートいたしました。新しい顧客層の獲得に向けた取り組みといたしましては、スマートフォンアプリのLINEを利用したクーポン発行やフェイスブックによる情報発信等SNSの活用や、Web予約システムの導入等を順次進めております。

以上の結果、売上高は90億19百万円(前年同期比97.5%)、セグメント利益6億48百万円(前年同期比128.0%)となりました。

店舗数につきましては、梅の花は2店舗出店し74店舗、チャイナ梅の花3店舗、かにしげ3店舗、その他店舗は1店舗退店し6店舗、外食事業の全店舗数は86店舗となりました。

(テイクアウト事業)

テイクアウト事業におきましては、顧客満足度の向上を目的に専門スタッフが店舗訪問時に接客指導を強化するとともに、定期的に集合研修を実施し従業員のスキルアップを図っております。また、節分やひな祭り等、季節のイベントに合わせた企画や他社とのコラボ商品により、業績向上を図りました。

以上の結果、テイクアウト事業の売上高は64億15百万円(前年同期比101.3%)、セグメント利益3億18百万円(前年同期比110.9%)となりました。

店舗数につきましては、古市庵テイクアウト店は1店舗出店及び百貨店閉鎖に伴う3店舗閉店により131店舗、梅の花テイクアウト店は46店舗、その他店舗は6店舗、テイクアウト事業の全店舗数は183店舗となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比べ7億74百万円増加し、270億5百万円となりました。これは主に、丸平商店グループを完全子会社化したことにより、棚卸資産が8億10百万円、のれんが3億27百万円増加したことによるものであります。

負債の部につきましては、前連結会計年度末と比べ5億26百万円増加し、216億5百万円となりました。これは主に、買掛金が1億46百万円、賞与引当金が1億14百万円、借入金の総額が89百万円増加したことによるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末と比べ2億48百万円増加し、53億99百万円となりました。これは主に、利益剰余金が2億39百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年11月14日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,726,651	5,840,795
売掛金	1,367,101	1,591,614
商品及び製品	114,079	896,773
原材料及び貯蔵品	199,999	247,440
繰延税金資産	<u>144,504</u>	<u>219,413</u>
その他	503,533	537,886
貸倒引当金	<u>△1,558</u>	<u>△1,558</u>
流動資産合計	<u>10,054,310</u>	<u>9,332,364</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	<u>7,317,501</u>	<u>7,313,699</u>
機械装置及び運搬具(純額)	266,725	309,797
土地	5,280,938	5,291,308
建設仮勘定	12,653	21,425
その他(純額)	<u>519,040</u>	<u>543,321</u>
有形固定資産合計	<u>13,396,858</u>	<u>13,479,553</u>
無形固定資産		
のれん	112,834	384,028
その他	142,233	149,896
無形固定資産合計	<u>255,067</u>	<u>533,924</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	89,827	1,079,452
長期貸付金	201,893	35,362
退職給付に係る資産	210,061	226,171
繰延税金資産	<u>379,465</u>	<u>324,430</u>
敷金及び保証金	1,715,021	1,834,061
その他	<u>111,905</u>	<u>163,981</u>
貸倒引当金	<u>△183,661</u>	<u>△4,059</u>
投資その他の資産合計	<u>2,524,513</u>	<u>3,659,400</u>
固定資産合計	<u>16,176,439</u>	<u>17,672,879</u>
資産合計	<u>26,230,750</u>	<u>27,005,243</u>

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	593,556	739,933
短期借入金	4,300,000	5,400,000
1年内返済予定の長期借入金	1,966,374	1,839,544
未払金	1,118,733	1,124,239
未払法人税等	76,732	148,794
賞与引当金	152,100	266,300
ポイント引当金	193,293	192,988
その他	599,952	697,810
流動負債合計	<u>9,000,741</u>	<u>10,409,609</u>
固定負債		
長期借入金	11,367,656	10,484,434
資産除去債務	691,273	702,204
その他	<u>19,784</u>	<u>9,495</u>
固定負債合計	<u>12,078,714</u>	<u>11,196,134</u>
負債合計	<u>21,079,456</u>	<u>21,605,743</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,123,177	4,123,177
資本剰余金	<u>3,444,602</u>	<u>3,444,602</u>
利益剰余金	<u>△976,570</u>	<u>△737,400</u>
自己株式	△1,436,639	△1,436,639
株主資本合計	<u>5,154,569</u>	<u>5,393,740</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,562	31,790
為替換算調整勘定	△4,725	△23,975
退職給付に係る調整累計額	△4,112	△2,056
その他の包括利益累計額合計	<u>△3,276</u>	<u>5,759</u>
純資産合計	<u>5,151,293</u>	<u>5,399,499</u>
負債純資産合計	<u>26,230,750</u>	<u>27,005,243</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	15,582,533	16,068,734
売上原価	4,768,358	5,256,332
売上総利益	10,814,174	10,812,401
販売費及び一般管理費	<u>10,467,082</u>	<u>10,316,435</u>
営業利益	<u>347,092</u>	<u>495,966</u>
営業外収益		
受取利息	2,249	1,951
受取配当金	498	13,021
持分法による投資利益	-	12,320
受取手数料	18,890	21,306
保険返戻金	16,637	7,335
雑収入	26,923	15,299
営業外収益合計	<u>65,199</u>	<u>71,235</u>
営業外費用		
支払利息	30,778	36,779
株式関連費	27,192	26,216
雑損失	<u>6,168</u>	14,103
営業外費用合計	<u>64,138</u>	<u>77,098</u>
経常利益	<u>348,153</u>	<u>490,102</u>
特別損失		
固定資産除売却損	<u>26,705</u>	10,204
減損損失	<u>110,557</u>	<u>98,081</u>
特別損失合計	<u>137,263</u>	<u>108,286</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>210,889</u>	<u>381,816</u>
法人税、住民税及び事業税	89,771	122,582
法人税等調整額	<u>5,522</u>	<u>△13,644</u>
法人税等合計	<u>95,293</u>	<u>108,937</u>
四半期純利益	<u>115,596</u>	<u>272,878</u>
親会社株主に帰属する四半期純利益	<u>115,596</u>	<u>272,878</u>

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	115,596	272,878
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,040	26,228
退職給付に係る調整額	△3,120	2,056
持分法適用会社に対する持分相当額	-	△19,249
その他の包括利益合計	△18,161	9,035
四半期包括利益	97,434	281,913
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	97,434	281,913

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	210,889	381,816
減価償却費	520,765	524,064
減損損失	110,557	98,081
のれん償却額	56,417	73,660
賞与引当金の増減額(△は減少)	34,800	114,200
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△16,568	△16,109
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△200	—
ポイント引当金の増減額(△は減少)	1,276	△305
受取利息及び受取配当金	△2,747	△14,972
支払利息	30,778	36,779
持分法による投資損益(△は益)	—	△12,320
固定資産除売却損益(△は益)	26,705	10,204
保険返戻金	△16,637	△7,335
売上債権の増減額(△は増加)	△131,184	41,088
たな卸資産の増減額(△は増加)	△29,702	△171,480
仕入債務の増減額(△は減少)	63,607	113,023
その他	52,343	△46,010
小計	911,100	1,124,382
利息及び配当金の受取額	746	13,128
利息の支払額	△30,892	△36,820
法人税等の支払額	△34,985	△69,701
法人税等の還付額	74,541	31,638
営業活動によるキャッシュ・フロー	920,511	1,062,627
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△2,461
定期預金の払戻による収入	519	—
有形固定資産の取得による支出	△767,411	△464,935
有形固定資産の売却による収入	—	9,784
無形固定資産の取得による支出	△79,413	△25,510
有形固定資産の除却による支出	△23,113	△45
投資有価証券の取得による支出	△1,297	△943,373
貸付けによる支出	—	△20,000
保険積立金の払戻による収入	45,254	9,497
敷金及び保証金の回収による収入	11,311	12,922
敷金及び保証金の差入による支出	△9,729	△108,308
長期前払費用の取得による支出	—	△54,877
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△76,978
その他	1,962	3,734
投資活動によるキャッシュ・フロー	△821,916	△1,660,551

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,700,000	104,400
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△859,742	△1,546,488
自己株式の取得による支出	△89	—
社債の償還による支出	△2,259,675	—
リース債務の返済による支出	△18,514	△3,990
配当金の支払額	△36,770	△34,239
財務活動によるキャッシュ・フロー	△174,790	△1,480,317
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△76,196	△2,078,241
現金及び現金同等物の期首残高	1,713,769	7,398,836
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,637,573	5,320,594

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成27年10月1日至平成28年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外食事業	テイクアウト事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	9,249,825	6,332,708	15,582,533	—	15,582,533	—	15,582,533
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	7,280	18,524	25,805	—	25,805	△25,805	—
計	9,257,105	6,351,233	15,608,339	—	15,608,339	△25,805	15,582,533
セグメント利益	<u>506,280</u>	<u>287,117</u>	<u>793,397</u>	—	<u>793,397</u>	△446,305	<u>347,092</u>

（注）1 セグメント利益の調整額△446,305千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「外食事業」97,434千円、「テイクアウト事業」13,123千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成28年10月1日至平成29年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外食事業	テイクアウト事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	9,019,287	6,415,058	15,434,345	634,388	16,068,734	—	16,068,734
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	5,423	17,408	22,832	—	22,832	△22,832	—
計	9,024,711	6,432,467	15,457,178	634,388	16,091,566	△22,832	16,068,734
セグメント利益 又は損失(△)	<u>648,134</u>	<u>318,289</u>	<u>966,424</u>	△10,142	<u>956,281</u>	△460,315	<u>495,966</u>

（注）1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、第1四半期連結会計期間において、株式取得により子会社化した株式会社丸平商店、ヤマグチ水産株式会社及び株式会社グッドマーケットレーディングの営む水産物加工製造販売等であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△460,315千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントにおいて、株式会社丸平商店、ヤマグチ水産株式会社及び株式会社グッドマーケットレーディングの株式を取得し、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては327,610千円でありま
す。

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「外食事業」96,773千円、「テイクアウト事業」1,308
千円であります。

(重要な後発事象)

当社は、サトレストランシステムズ株式会社(以下「SRS社」)傘下のすし半事業を譲り受けることについて、平
成29年2月27日付で株式譲渡契約を締結し、SRS社傘下のすし半事業が吸収分割による会社分割で、株式会社すし半
に承継された後、平成29年4月1日付で株式会社すし半の全株式を取得しました。

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 株式会社すし半

事業の内容 飲食店の経営

売上高(平成29年3月期) 1,903百万円

(注) 売上高は、29年3月期のSRS社のすし半事業における店舗売上高を単純合算した金額であり、監査は受
けておりません。

②企業結合を行った主な理由

「すし半」事業は、当社グループに無い業態であり、当社商品の供給及び消耗品・資材等の共同仕入れ
によるスケールメリット並びに物流等のシナジー効果が得られると同時に、今後展開可能なエリアの拡
大、店舗メニューの増加等、業績向上にも大きく寄与出来るものと判断し、さらに組織の活性化や人材交
流により将来の当社グループの事業基盤の拡大に資するものと判断いたしました。

③企業結合日 平成29年4月1日

④企業結合の法的形式 現金を対価とする株式取得

⑤結合後企業の名称 変更ありません。

⑥取得した議決権比率 100%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	2,520,000千円
取得原価		2,520,000千円

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 36,550千円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。